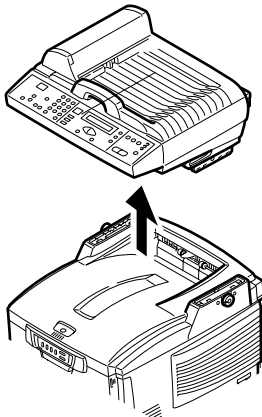
C5510MFP
クイックガイド

43311101EE

⚠注意　スキャナ部を持って移動させないでください。

MFP が壊れる恐れがあります。

● MFP を移動する場合

必ずスキャナ部をプリンタ部から外して移動してください。

使用できる用紙と給紙トレイと排出先の関係

○：使用できます
△：一部のサイズで使用できます
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法		排出方法	
			用紙カセット	マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
普通紙*1*6	連量 55〜90kg (64〜105g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎
		A6	○	○	○	×
		カスタム*2	△*7	△	△	△*3
	連量 91〜105kg (106〜120g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○
		A6	○	○	○	×
		カスタム*2	△*7	○	○	△*3
	連量 106〜150kg (121〜175g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○
		A6	×	○	○	×
		カスタム*2	×	○	○	△*3
	連量 151〜172kg (176〜200g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	×
		A6	×	○	○	×
		カスタム*2	×	○	○	×
はがき*5	—	はがき, 往復はがき	×	○	○	×
封筒*5*6	—	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch	×	○	○	×
ラベル紙*5	—	A4, レター	×	○	○	×
OHPシート*5	—	A4, レター	×	○	○	×

*1：全ての用紙は縦送りです。
*2：カスタムは幅 100〜215.9mm、長さ 148〜1200mm です。ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅 210〜215.9mm となります。両面印刷可能なサイズは幅 148〜215.9mm、長さ 210〜355.6mm です。
*3：幅 105〜215.9mm、長さ 148〜355.6mm です。
*4：幅 148〜215.9mm、長さ 210〜355.6mm です。
*5：はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
*7：幅 105〜215.91mm, 長さ 148〜355.6mm の範囲内の一部のサイズで使用できます。

コピー / 読み込みできる原稿

C5510MFP で読み取り可能な原稿サイズは、次の通りです。

原稿台	208mm × 286mm 以下
ADF	幅 110〜208mm　長さ 135〜343mm

注 ADF（オートドキュメントフィーダ）で連続読み込みするには、原稿は紙厚 60g/m² 〜 105g/m² でシワや反りのない原稿を使用してください。

● 原稿台を使用する場合

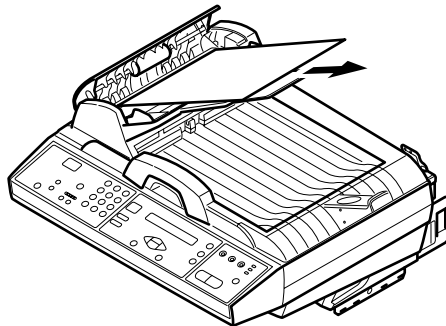
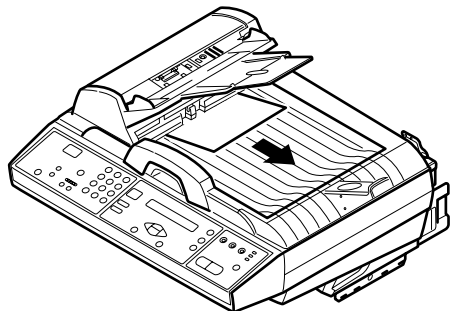
原稿台に読み取り原稿を 1 枚ずつのせて、スキャンします。
厚みのある原稿もスキャンすることができます。

● ADF を使用する場合

ADF に 1 度にセットできる原稿は、50 枚までです。

ADF に原稿がつまったとき

1 ADF のカバーを開けます。

2 つまっている原稿を取り除きます。

原稿の先端が見えない場合

原稿の先端が見える場合

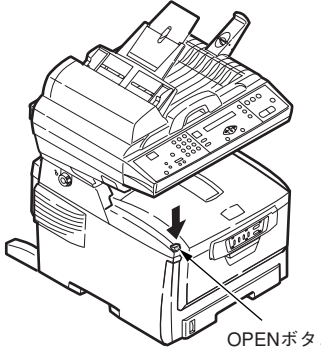
3 ADF のフロントカバーを閉じます。

これで完了です。

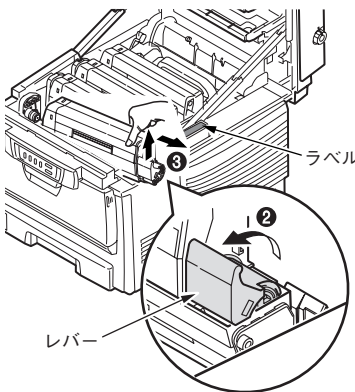
トナーカートリッジの交換

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

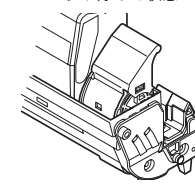
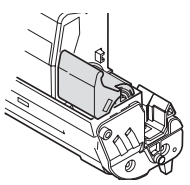
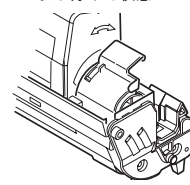
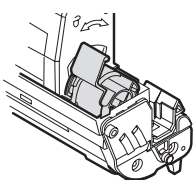
⚠警告　使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

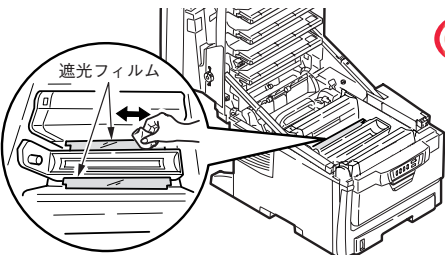
メモ　使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収のご案内」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

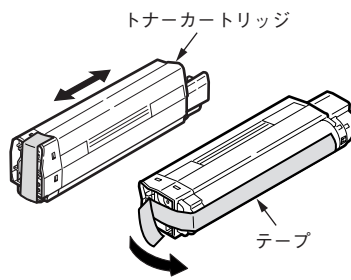
❷ トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

スタータトナーカートリッジの場合　　通常のトナーカートリッジの場合

注
- トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- スタータトナーがセットされている場合は、[トナー　ナシ] になってから交換してください。通常のトナーカートリッジをセットした後は、スタータトナーは使用できなくなります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

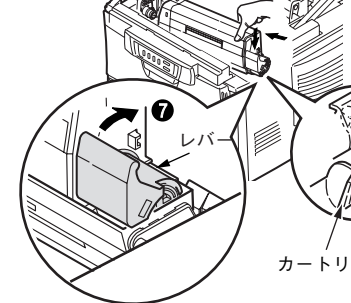
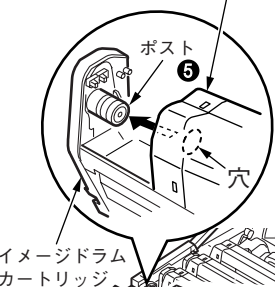
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

注
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LED レンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5 トップカバーを閉じます。

メモ トナーカートリッジを交換しても、[トナーヲ　コウカンシテクダサイ] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

お客様相談センターのご案内

MFP の操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。ユーザーズマニュアル－セットアップ編－の「お客様相談センターのご案内」の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9：00 〜 20：00 月曜日〜金曜日
9：00 〜 17：00 土曜日
(但し　祝日を除く)

使用済み消耗品の回収のご案内

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データプリンタ /MFP の消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。

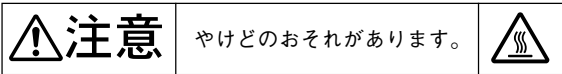
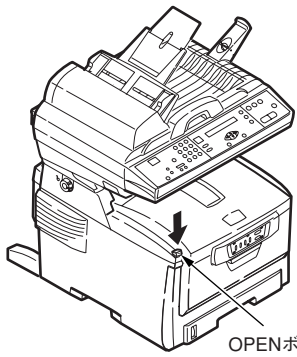
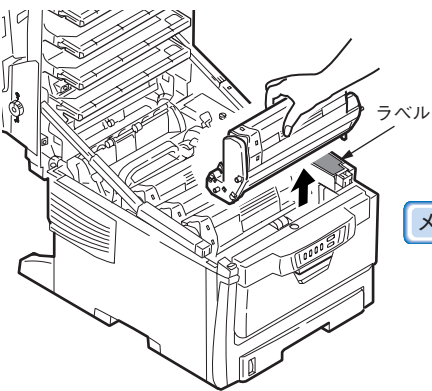
弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

FAX でも承っておりますので、詳しくはユーザーズマニュアル－セットアップ編－の「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。

消耗品を購入したいとき

消耗品は、お近くの販売店でお求めください。

イメージドラムカートリッジの交換

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

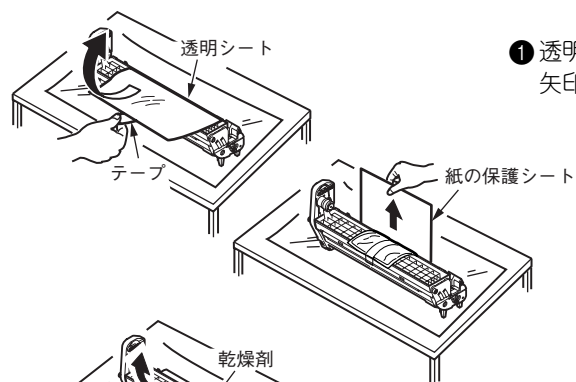
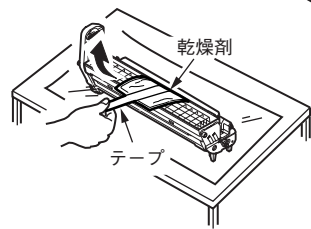
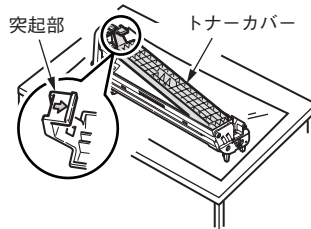
❷トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

注 イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❶透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❷乾燥剤を取り外します。

❸トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

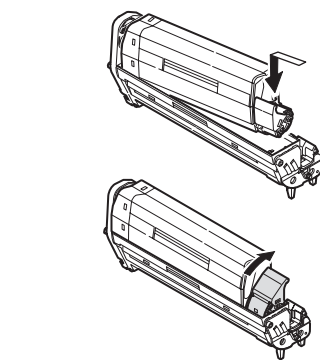
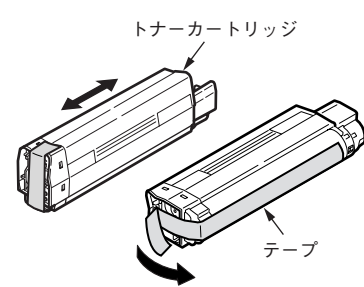
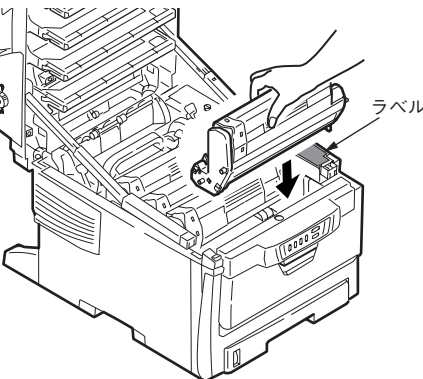
❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

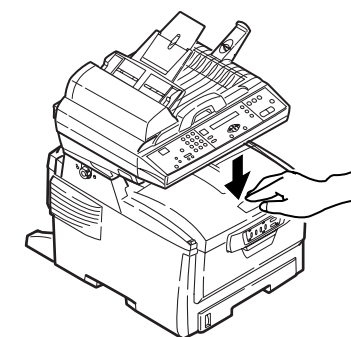
❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

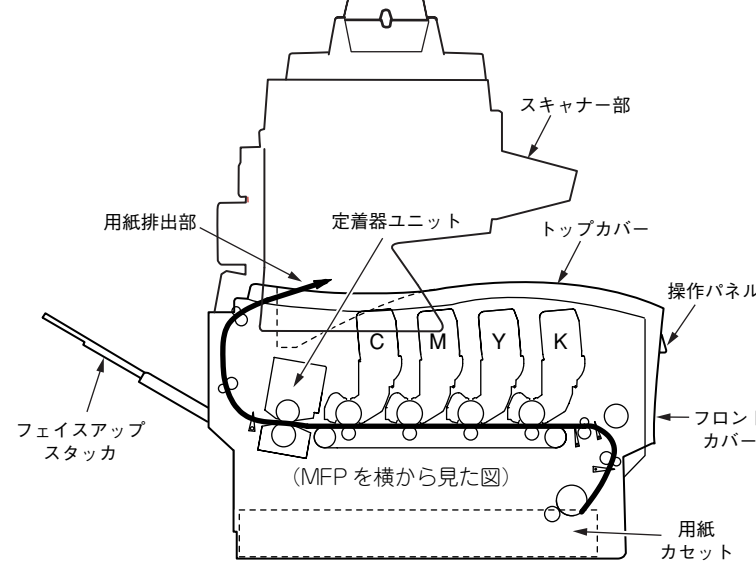
❺テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

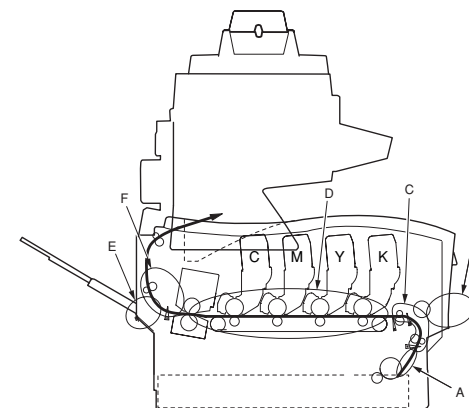
❼トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

5 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶イメージドラムカートリッジのラベルの色とMFPのラベルの色が合っていることを確認します。

❷イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、スキャナー部の操作パネルに［ヨウシ　ジャム］メッセージが表示されます。
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（MFP を横から見た図）

紙づまり（ジャム）発生場所とエラーメッセージ

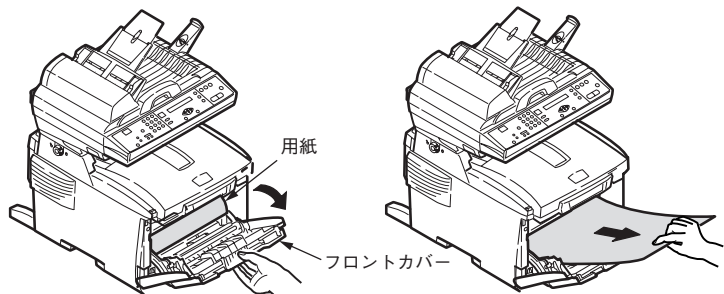
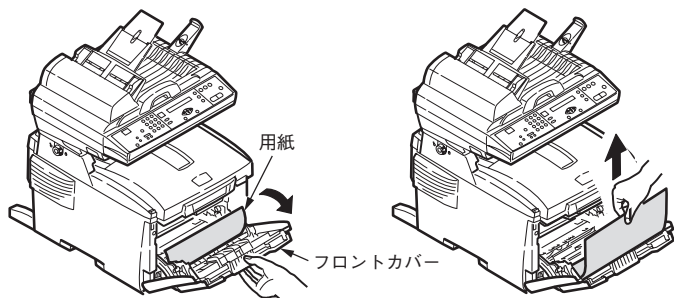
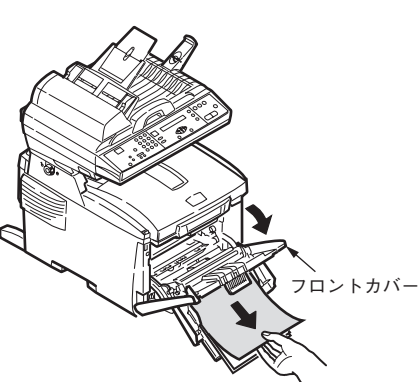
紙づまりの場所によって、エラーメッセージは異なります。

（MFP を横から見た図）

発生場所	エラーメッセージ
A・B・C	ヨウシ　ジャム フロント　カバーヲ　アケテクダサイ
D	ヨウシ　ジャム - ヨウシ　ソウコウチュウ トップ　カバーヲ　アケテクダサイ
E	ヨウシ　ジャム - マルチフィード
F	ヨウシ　ジャム - デグチ トップ　カバーヲ　アケテクダサイ

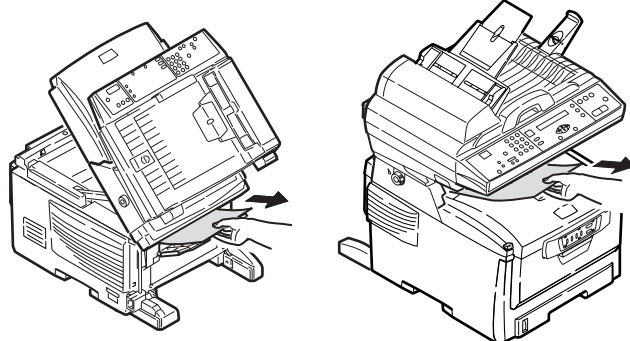
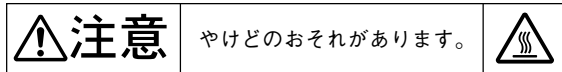
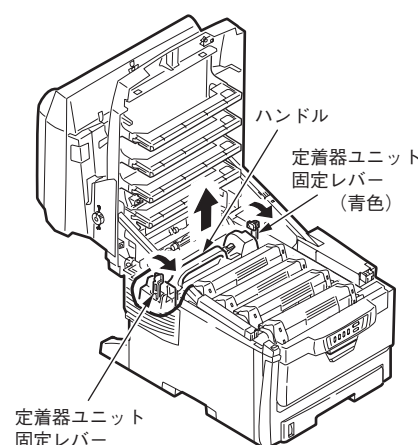
1 つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部（発生場所：A・B・C・D）

フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。
なお、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

後端が見える場合

先端が見える場合

先端が見えない場合

用紙排出部（発生場所：F）

排出口から用紙をゆっくり引き出します。

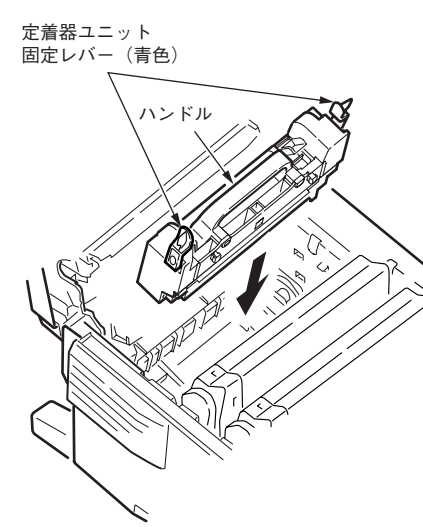
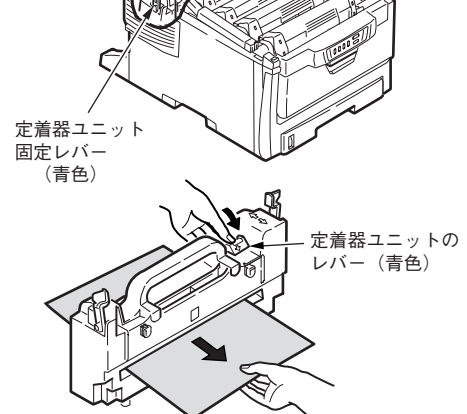
注 用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ部の内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

定着器ユニット部（発生場所：D・E・F）

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

❹ハンドルを持ち、定着器ユニットを静かに戻します。

❺定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、ステータスページ印刷、白紙等を数回印刷してください。

つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

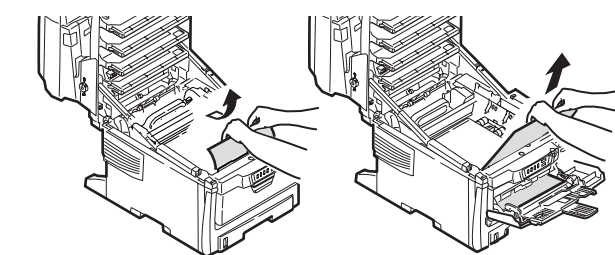
❶ネジに手を触れて静電気を逃がします。

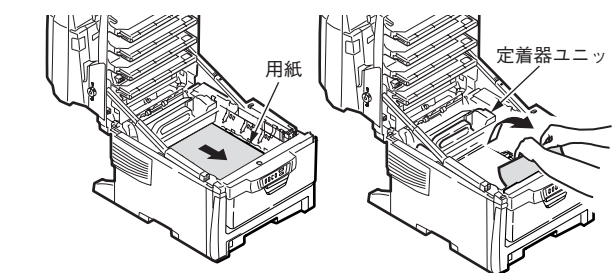
❷イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

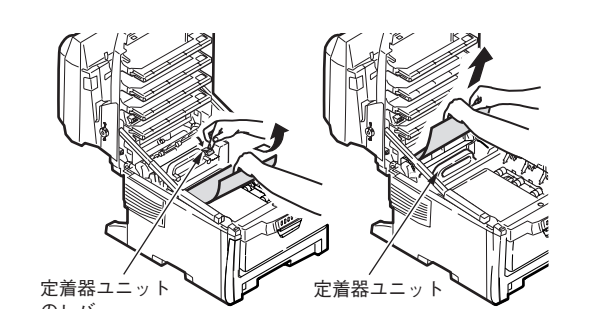
❸取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

❹つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ部の内側へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

定着器ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

❺イメージドラムカートリッジを戻します。